



法人共同代表者夫妻と社員の娘（左側）

## 経営概要

### ◆代表者、所在地

光岡直子、光岡俊、岡山県岡山市

### ◆設立年

令和4年9月

### ◆経営規模

水稻（酒米）14.5ha、水稻（主食用米）1.8ha、小麦21.6ha、大麦6.5ha

### ◆従業員数

役員3名、正社員1名、臨時雇用3名

### ◆事業内容

酒米栽培を中心に麦を組み合わせ、効率的な土地利用農業に取り組む。

## 1 現状及び相談内容

代表者の父がセミタイアすることを契機に、農業経営の継続性を強化するために、**代表者の両親・代表者夫妻とその娘の5人で家族経営協定を締結し、法人化と経営継承を検討**していた。

また、営農している田は、30haを超えており、ほ場が一部分散していることや、近年の天候不順等により農作業が遅れるなど、繁忙期はほとんど休みがない状態であったが、預かっている田を減らすことはできないことから、**新たに雇用を行うに当たって就業規則を整備したい**と、令和4年9月に相談があった。

## 2 支援内容

中小企業診断士や司法書士、税理士、社会保険労務士等で**支援チームを編成し、法人化のメリット・デメリットや会社設立時期、父が所有していた農業用施設等の法人化後の取扱いについて助言**を行った。

また、会社設立時に、娘を正社員として雇用するほか、繁忙期の臨時雇用や代表者の両親の引退に伴う常時雇用者の確保も必要であることから、社会保険労務士による**適切な就業規則の策定に向けた支援**を行った。

## 3 人材の確保・育成に資する取組

★労働力不足に対応していくために、就業規則を定め雇用就農に対応できる環境を整備

### ■雇用主と従業員間のルールを明確化

家族経営を中心としていたため、就業に関する取り決めが曖昧だったが、今後の雇用者受入に向けて**就業規則を策定し、雇用者を受け入れやすい環境を整備**した。

### ■作業マニュアルによる多能工制を導入

繁忙期の過労働の解消については、**スマート農機等による作業の効率化やほ場状態の数値化、農作業マニュアル作成による複数作業員への適応等により改善**を図った。



専門家相談対応の様子

### 今後の意気込み

岡山が誇る酒米「雄町」を次代に引き継げるよう、家族を中心に頑張ります。農業は大変ですが、やりがいも大きいです。引き続き地域の担い手として色んなことにチャレンジしていきます。

### 専属スタッフ所感

経営の方向性が明確で、相談から2ヶ月余りで法人設立となりました。社名に込められた未来輝く会社に発展するよう期待しています。